



平成 29 年度（2017 年度）の学校経営方針



広島大学附属福山中・高等学校
校長 渡辺 健次

広島大学附属福山中・高等学校は、そのミッションを以下のように定め、下記に掲げる教育理念に基づく学校教育目標の実現に向けて、教職員が協働して絶えざる努力を払います。

1 附属福山中・高等学校のミッション

本校は、教育基本法ならびに学校教育法に基づいて中等普通教育を施し、広島大学の附属中・高等学校として、以下の事項を特別の任務とする。

- (1) 広島大学と密接な連携のもとに、中等教育の理論および実践に関する高度な研究を推進する
- (2) 広島大学と密接な連携のもとに、その学生の観察・参加・実習に当たる
- (3) 長きにわたる中高一貫教育の伝統に基づき、高度な教育研究を実践し、その成果を積極的に公開する

2 附属福山中・高等学校の教育理念（目指す生徒像）



- ・フロンティア精神をもって、絶えざる創造と自己更新を続ける人間
- ・21 世紀、地域社会に根ざしつつ、国際社会に目を向ける人間
- ・自由と自主の精神をもって、学問を探求し創造する人間
- ・学問探求における論理的・批判的思考力と科学する能力をそなえた人間
- ・自由と自主の精神をもって、日本と世界の真に豊かな社会を構築する人間

3 附属福山中・高等学校の教育目標（学校全体としての教育目標）

- ・自由と自主の精神を追及し、豊かな教育環境を創造する。
- ・豊かな教養と確かな学力を保証し、生徒個々のニーズに応じた進路を実現する。
- ・備後を中心とした地域社会に貢献する人材を育成する。
- ・グローバル社会をリードする人材を育成する。
- ・質の高い教育実践を追及し、先導的な中等教育カリキュラムを提案する。

4 附属福山中・高等学校の平成29年度学校経営目標

(1) 学校経営

- ・情報発信力をさらに強化し、教育研究活動の成果を中心とした学校の情報を積極的に公開し、効果的な情報発信に努める。
- ・福山を中心とした地域の、学校など様々な組織と連携する。
- ・生徒および教職員の健康と安全が保障されるよう、より快適で安全な学校環境を実現する。
- ・学校運営の必要な見直しを行い、その改善を図り、効率的な運営を行う。
- ・教育助成会、教育後援会、同窓会（オリーブ会）との緊密な連携を図り、教育環境の整備・充実を進める。

(2) 教育活動

- ・自由と自主の精神の教育理念を尊重し、日常の教育活動を推進する。
- ・1962年に導入した中・高一貫教育をさらに積極的に推進し、授業、クラブ活動、学友会等、学校全体の教育活動を通して、学年を超え、クラスを超えた協働の学びを充実させる。
- ・他者を思いやり自分を客観的に見ることのできる生徒を育てる。
- ・生徒一人ひとりの様子を把握し共有する。
- ・生徒自身が自分の将来について考える機会を十分に与える。

(3) 研究活動

文部科学省スーパーグローバルハイスクール（SGH）の3年次の取り組みとして、以下の4つの観点を中心に研究活動を推進する。

- ・課題研究「グローバルプログラム」、課題研究特別講座「スーパーグローバル」、新教科「現代への視座」「課題研究への誘い」、「既存の教科」等の取り組みについて開発と検証を行い、カリキュラムの評価・改善を行う。
- ・グローバルコンピテンシーの設定、生徒の変容に影響を与える要素の分析を継続して行い、カリキュラムの改善と調査の改善を行う。
- ・引き続き広島大学を中心に積極的に連携する。
- ・文部科学省の中間評価だけでなく、研究全体について多面的に評価・見直しを行う。

(4) 教育実習

研修体制を強化することで、教員のより高度な教育力や実践力を育成する。

- ・広島大学との連携のもとに、教育実習の質保障を図る。
- ・教育学研究科の各講座と連携して、高度な実習を提供する。
- ・教科「教科教育学の実践的検証」を通して教職大学院と連携する。
- ・昨年に引き続き、新しい生徒指導実習に取り組む。

